

情報モラルについて考える道徳授業 (第1学年)

ねらいとする価値

情報モラルにおける、トラブルの場面から、相手の気持ちを考えたり、情報モラルのきまりを知ったりする活動を通して、情報機器を扱うときの、きまりをすすんで守ろうとする心情を養う。

資料

「肖像権に気をつけて」

(ウェブサイト「ネット社会の歩き方」)より

ねらい

写真や動画を撮るときの基礎的な内容を学び、写真や動画を撮るときにはどんな点に気を付ければ良いのかを考え、実践しようとする事ができる。

授業のながれ

- きたコンでこれまでどんな写真を撮ったか振り返る。
- 自分の教室のお気に入りのところを撮る。

- 映像を見て、写真を撮るときや、写真を使うときにどんなことに気を付ければよいか考える。
- ・泣いている子はどんなことが嫌で、泣いているのでしょうか。
- ☆周りの子は、どうすればよかったですでしょうか。
- ・写真を撮るときに大事なことって、どんなことでしょうか。

- 肖像権のトラブルでどんなことが起こりやすいのか、教師の話聞く。

- 自分が、先ほど撮った写真を見て、肖像権に気付けることができていたか確認する。
- 人が写ってしまうときには、どのように言えばよいか確認し、肖像権に気をつけて、写真を撮ってみる。

☆家庭で話題にしていきたいこと

保護者の方のスマートフォンやタブレット、ゲーム機器などについて、ご家庭のルールをお子様と一緒に、話し合ってください。